

第3次東温市総合計画基本構想(案)に対する意見の内容と市の考え方

No	該当箇所	意見の内容	市の考え方
1	全般	コンサルタントの発想的な構想になっていませんか？ 綺麗にまとまっていますが、市役所目線を感じます。 大学の先生やコンサルと組んで成功するなら、全世界成功事例になります。 現代は、CRM(customer relationship management)の時代です。行政として、市民の声をデータベース化して、そのデータを元に政策を打つ(SFA→CRM)に切り替える時期なのではないでしょうか。(CRM学会の会員としてベストプラクティス部会員として)もっと住民目線で書いたら如何でしょう。 コミュニティ政策学会の会員として、 ・コンパクトシティの構築 家の近所で全ての問題が解決する。(成功事例:高松市商店街) 買物難民化(成功事例:イオン長濱店) ・高齢者の不寛容からみんなで創るまちづくりへの移行 新居浜の移住者の事件が物語ます。 名も無い人にも、活躍できる場面はあります。 イベントばかり企画していると職員も関係者も疲弊していきます。 ことを提案します。 (原文のとおり)	ご指摘のとおり、市民の声を元に政策を打ち出すことが重要であると認識しております。 計画の策定にあたりましては、基礎調査として市民アンケートやワークショップを実施しておりますので、ここでいただいた様々な立場の方からのご意見、また、東温市総合計画審議会委員の皆様からのご意見を元に、地域の実情や市民のニーズに沿ったまちづくりを進めたいと考えております。 また、コンパクトシティの構築など、具体的な施策のご提案については、基本構想のもと策定する基本計画の検討を進める上での参考とさせていただきます。